

1984年 5月25日

《毎月10日、25日発行》

第62号 6頁200円

定期購読料（1部22回）

手渡し 3000円／開封 3500円／密封 4000円

赫 せつき 旗

紙関機中央同盟者主義産共

(1980年2月28日第3種郵便物認可)

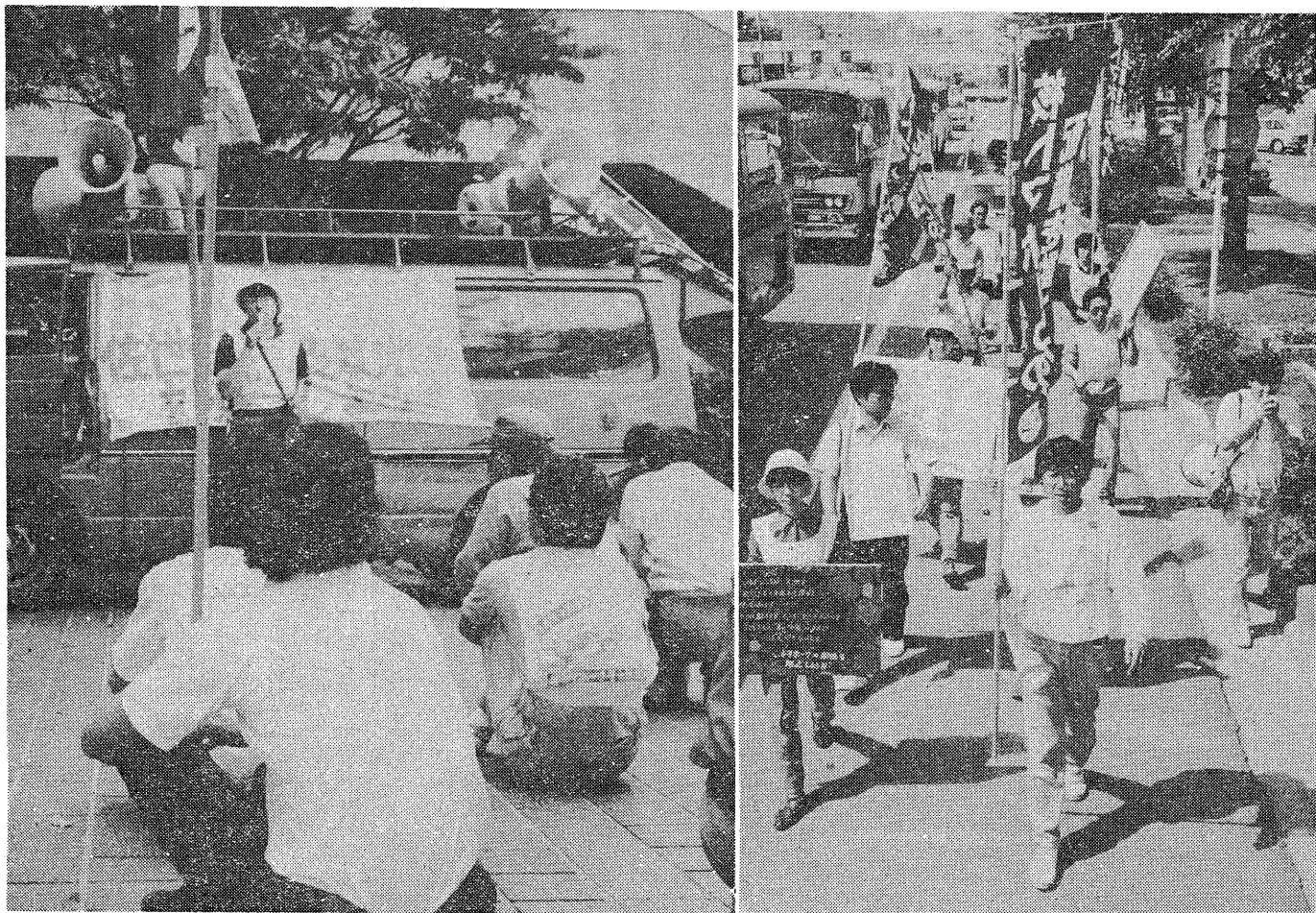
發行
赤路社

東京都新宿区西新宿 3-5-3-406
電話 (03) 349-8598 東京7-86947
編集・発行人 北沢 晋

関西赤路社

大阪市福島区大開 1-19-13
副島ビル 電話(06)462-7030

反トマ政治ストを支援しよう



反トマキヤランを成功させよう。5月13に出発した行進団は、警察、右翼の妨害にもかかわらず各地で勢力的に活動中。地域・職場・学園で全国キヤラン運動との合流をつくろう。写真は九州地区で活動中の行進団。（3面、4面に関連記事）

6.
17 横須賀現地へ

反核キャラバンと合流し職場・学園から総決起を

五月十二、反核キャバン隊が佐世保を出発した。現在、行進隊は九州・中国行程を終わり、五月十五日には関西地区へ入る。

この間、行進隊は精神的に反トマ活動を展開し、反トマホーク・ロケットを切り取っており、大衆的激励と共感の渦をまきおこしている。関西行程以降のキャバン運動を積極的に支援し、台流の闘いをつくりだしている。

今日、極東トマホーク配備をめぐる情勢は、六月配備が最近に迫る中、緊張は一段と高まっている。五月十五日、原子力潜水艦ソフランシスユがトマホーク配備要員と見られる二十名を増乗船して横須賀に入港した。五月十八日にはトマホーク配備に関して、中曽根自からが衆議院で①平時には公海上なら移ト訓練はありえる。②有事の際は、公海上ならトマホーク搭載艦と共同対外行動を行うことは認められる。③こうした共同行動は、日米安保条約の範囲内で行うに機能せうと発言し、トマホーク配備、日米核安保推進と歓迎を公然と表明。更に、五月十五日から始まった「リムパックスプライズ」「カールヒンソン」が、自衛隊がいまや実戦的に米米の核戦略に深く組みこま

して、何よも月全斗煥来日→天皇会见、乗勅の急浮上である。とつて、先の横須賀へのトマホーク配備準備原管の入港はきわめて、重要である。それは、トマホークが六月以降原管に真知に配備されるというだけでなく、その核軍事システムにおいてをもつてある。すなわち、反核シンボリックに参加のため来日したラックウ元海軍少将は、五月十九日に地上の核ミサイルは大統領命令が必要であるが、潜水艦の場合は一定の条件のもとで、艦長は、名の将校の同意のもと、独自の判断で核攻撃を決定できると報告している。六月以降は、この現実の危険を伴

これら闘いの中で、とりわけ、反トマ政治ストの準備とその闘いの支援を訴える。すでに、六月反トマ政治ストがいくつかの労組で計画、準備されている。反トマ政治ストは労働者階級の今後の反核反核反安保闘争の方向と、日米安保・自衛隊を容認する帝國主義労働運動と対決する試金石ともなる闘いである。資本、権力から政治ストを防衛し、闘いを成功させたため、反マ政治スト支援を幸ての先進的労働者の共通の闘いとしよう。この荒々しい闘いの中から数千人、数力の隊伍をもつて、六・一七横須賀へ結果しよう。

5・12 吉田さん(行進団
長、京都トマ連)宅に、まった
くのデッチあげで家宅捜査。早
くも、権力の妨害が始まる。

5・13 豪雨の中、佐世保市
島瀬公園で出発式。市街テモ
情屋活動(署名「カンパ」)に多
くの人が注目。京都では、キ
ャパンに呼応して、トマ連の

5・16 フェリーで、福岡市へ。船上、原簿サンフランシスコ(トマホーク配備予定)の横須賀入港に抗議行動。自衛隊曹日原基也をへて、午後、米領事館に申し入れ。夜の総括集会では、反原英、日韓、女性など諸団体と、反トマホーク意見交換。

5・17 県庁へデモ、申し入

も参加。夜、関釜フェリーの軍事利用に反対する会、地区労青年部など交流会。

5・19 小月から岩国、広島へ向かう。平和公園までのデモに愛国院が車つきまとう。夜の交流会に、原研研がもうくりこんできたのを退席させる。

5・20 呉市に入る。午前中

機へ、兵器生産抗議行動。午後、全造船工団分會と交流し、地評の労働者四十名と、倉敷市役所までデモ。夕方、地評との交流会には、約七十人が集まった。

5・23 県庁での知事申し入れのあと、記者会見。部落解放同盟岡山県連を表敬訪問し、力を入れたく。午後、岡大で歓

二名が、ハンストに突入した。

6. 14 地区労と交流し、市長申し入れのあと、長崎市へ向かう。三菱長船労組がストライキで歓迎。長崎大から一手に分かれ、知事への申し入れと、爆心地デモ。夜、交流会。

反核キャバ
反トマ

ン隊
ロード拓く

迎撃会。約四十人で、岡山駅までデモ行進中、右翼の車二台が突っこもうとする。警察の規制が入ったが、いぜん伴走し続けるので、座り込む。右翼帰る。

駅近くで再登場し、カマボコ多数もでて、一時騒然となるが、

5・15 早朝より、二菱重工長崎造船所前で、労働者にヒラ入れ。原簿資料館長と対談し、館内見学。午後、諫早市へ入り中心街で情宣。県警が妨害するも、中・高校生多数が署名。夕方、島原市へ入って情宣。ここでも、若者達の関心が高い。地区労との学習会のあと、平和を考へる会に、にぎやかに交流。

れのと、県職労青年部長から連鎖集会の決意を激励。九大で歓迎集会、福岡大で情宣のあと大分県中津市へ向かう。夜の交流会では主婦や憲法九条を看板にした大魚屋さんなど発言。

5・18 筑城基地抗議行動のあと、小倉駅で情宣。夕方、下関に入る。駅前情宣には社会党

の情言、妨害にきたる愛国党と口論。電報中國本部をへて、市民の会と合流。約五十人で駅前情宣、デモ。夜には歓迎集会。

5・21 市長申し入れのあとと自衛隊基地へ、隣接する米軍弾薬庫にシュプレヒコール。午後安芸津火電亭定地へ向かう。

5・22 岡山に入る。住友重

5・26尼崎 5・27大阪 5・
 31京都 6・5岐阜 6・7名
 古屋 6・10静岡 6・13厚木
 6・17沢金文庫 朝七時 駅前
 でギヤラン隊を迎えよう、
 は？」なご質問。
 — 今後の主な日程 —
 7・11東京 7・12大阪 7・13名古屋
 7・14京都 7・15福岡 7・16札幌
 7・17仙台 7・18青森 7・19秋田
 7・20山形 7・21岩手 7・22宮城
 7・23福島 7・24茨城 7・25栃木
 7・26群馬 7・27千葉 7・28埼玉
 7・29神奈川 7・30東京 7・31大阪
 8・1名古屋 8・2京都 8・3福岡
 8・4札幌 8・5仙台 8・6青森
 8・7秋田 8・8山形 8・9岩手
 8・10宮城 8・11福島 8・12茨城
 8・13栃木 8・14群馬 8・15千葉
 8・16埼玉 8・17神奈川 8・18東京
 8・19大阪 8・20名古屋 8・21京都
 8・22福岡 8・23札幌 8・24仙台
 8・25青森 8・26秋田 8・27山形
 8・28岩手 8・29宮城 8・30福島
 8・31茨城 9・1栃木 9・2群馬
 9・3千葉 9・4埼玉 9・5神奈川
 9・6東京 9・7大阪 9・8名古屋
 9・9京都 9・10福岡 9・11札幌
 9・12仙台 9・13青森 9・14秋田
 9・15山形 9・16岩手 9・17宮城
 9・18福島 9・19茨城 9・20栃木
 9・21群馬 9・22千葉 9・23埼玉
 9・24神奈川 9・25東京 9・26大阪
 9・27名古屋 9・28京都 9・29福岡
 9・30札幌 10・1仙台 10・2青森
 10・3秋田 10・4山形 10・5岩手
 10・6宮城 10・7福島 10・8茨城
 10・9栃木 10・10群馬 10・11千葉
 10・12埼玉 10・13神奈川 10・14東京
 10・15大阪 10・16名古屋 10・17京都
 10・18福岡 10・19札幌 10・20仙台
 10・21青森 10・22秋田 10・23山形
 10・24岩手 10・25宮城 10・26福島
 10・27茨城 10・28栃木 10・29群馬
 10・30千葉 10・31埼玉 11・1神奈川
 11・2東京 11・3大阪 11・4名古屋
 11・5京都 11・6福岡 11・7札幌
 11・8仙台 11・9青森 11・10秋田
 11・11山形 11・12岩手 11・13宮城
 11・14福島 11・15茨城 11・16栃木
 11・17群馬 11・18千葉 11・19埼玉
 11・20神奈川 11・21東京 11・22大阪
 11・23名古屋 11・24京都 11・25福岡
 11・26札幌 11・27仙台 11・28青森
 11・29秋田 11・30山形 12・1岩手
 12・2宮城 12・3福島 12・4茨城
 12・5栃木 12・6群馬 12・7千葉
 12・8埼玉 12・9神奈川 12・10東京
 12・11大阪 12・12名古屋 12・13京都
 12・14福岡 12・15札幌 12・16仙台
 12・17青森 12・18秋田 12・19山形
 12・20岩手 12・21宮城 12・22福島
 12・23茨城 12・24栃木 12・25群馬
 12・26千葉 12・27埼玉 12・28神奈川
 12・29東京 12・30大阪 12・31名古屋
 1980年 1・1京都 1・2福岡 1・3札幌
 1・4仙台 1・5青森 1・6秋田 1・7山形
 1・8岩手 1・9宮城 1・10福島 1・11茨城
 1・12栃木 1・13群馬 1・14千葉 1・15埼玉
 1・16神奈川 1・17東京 1・18大阪 1・19名古屋
 1・20京都 1・21福岡 1・22札幌 1・23仙台
 1・24青森 1・25秋田 1・26山形 1・27岩手
 1・28宮城 1・29福島 1・30茨城 1・31栃木
 2・1群馬 2・2千葉 2・3埼玉 2・4神奈川
 2・5東京 2・6大阪 2・7名古屋 2・8京都
 2・9福岡 2・10札幌 2・11仙台 2・12青森
 2・13秋田 2・14山形 2・15岩手 2・16宮城
 2・17福島 2・18茨城 2・19栃木 2・20群馬
 2・21千葉 2・22埼玉 2・23神奈川 2・24東京
 2・25大阪 2・26名古屋 2・27京都 2・28福岡
 2・29札幌 2・30仙台 3・1青森 3・2秋田
 3・3山形 3・4岩手 3・5宮城 3・6福島
 3・7茨城 3・8栃木 3・9群馬 3・10千葉
 3・11埼玉 3・12神奈川 3・13東京 3・14大阪
 3・15名古屋 3・16京都 3・17福岡 3・18札幌
 3・19仙台 3・20青森 3・21秋田 3・22山形
 3・23岩手 3・24宮城 3・25福島 3・26茨城
 3・27栃木 3・28群馬 3・29千葉 3・30埼玉
 3・31神奈川 4・1東京 4・2大阪 4・3名古屋
 4・4京都 4・5福岡 4・6札幌 4・7仙台
 4・8青森 4・9秋田 4・10山形 4・11岩手
 4・12宮城 4・13福島 4・14茨城 4・15栃木
 4・16群馬 4・17千葉 4・18埼玉 4・19神奈川
 4・20東京 4・21大阪 4・22名古屋 4・23京都
 4・24福岡 4・25札幌 4・26仙台 4・27青森
 4・28秋田 4・29山形 4・30岩手 5・1宮城
 5・2福島 5・3茨城 5・4栃木 5・5群馬
 5・6千葉 5・7埼玉 5・8神奈川 5・9東京
 5・10大阪 5・11名古屋 5・12京都 5・13福岡
 5・14札幌 5・15仙台 5・16青森 5・17秋田
 5・18山形 5・19岩手 5・20宮城 5・21福島
 5・22茨城 5・23栃木 5・24群馬 5・25千葉
 5・26埼玉 5・27神奈川 5・28東京 5・29大阪
 5・30名古屋 5・31京都 6・1福岡 6・2札幌
 6・3仙台 6・4青森 6・5秋田 6・6山形
 6・7岩手 6・8宮城 6・9福島 6・10茨城
 6・11栃木 6・12群馬 6・13千葉 6・14埼玉
 6・15神奈川 6・16東京 6・17大阪 6・18名古屋
 6・19京都 6・20福岡 6・21札幌 6・22仙台
 6・23青森 6・24秋田 6・25山形 6・26岩手
 6・27宮城 6・28福島 6・29茨城 6・30栃木
 7・1群馬 7・2千葉 7・3埼玉 7・4神奈川
 7・5東京 7・6大阪 7・7名古屋 7・8京都
 7・9福岡 7・10札幌 7・11仙台 7・12青森
 7・13秋田 7・14山形 7・15岩手 7・16宮城
 7・17福島 7・18茨城 7・19栃木 7・20群馬
 7・21千葉 7・22埼玉 7・23神奈川 7・24東京
 7・25大阪 7・26名古屋 7・27京都 7・28福岡
 7・29札幌 7・30仙台 7・31青森 8・1秋田
 8・2山形 8・3岩手 8・4宮城 8・5福島
 8・6茨城 8・7栃木 8・8群馬 8・9千葉
 8・10埼玉 8・11神奈川 8・12東京 8・13大阪
 8・14名古屋 8・15京都 8・16福岡 8・17札幌
 8・18仙台 8・19青森 8・20秋田 8・21山形
 8・22岩手 8・23宮城 8・24福島 8・25茨城
 8・26栃木 8・27群馬 8・28千葉 8・29埼玉
 8・30神奈川 8・31東京 9・1大阪 9・2名古屋
 9・3京都 9・4福岡 9・5札幌 9・6仙台
 9・7青森 9・8秋田 9・9山形 9・10岩手
 9・11宮城 9・12福島 9・13茨城 9・14栃木
 9・15群馬 9・16千葉 9・17埼玉 9・18神奈川
 9・19東京 9・20大阪 9・21名古屋 9・22京都
 9・23福岡 9・24札幌 9・25仙台 9・26青森
 9・27秋田 9・28山形 9・29岩手 9・30宮城
 10・1福島 10・2茨城 10・3栃木 10・4群馬
 10・5千葉 10・6埼玉 10・7神奈川 10・8東京
 10・9大阪 10・10名古屋 10・11京都 10・12福岡
 10・13札幌 10・14仙台 10・15青森 10・16秋田
 10・17山形 10・18岩手 10・19宮城 10・20福島
 10・21茨城 10・22栃木 10・23群馬 10・24千葉
 10・25埼玉 10・26神奈川 10・27東京 10・28大阪
 10・29名古屋 10・30京都 10・31福岡 11・1札幌
 11・2仙台 11・3青森 11・4秋田 11・5山形
 11・6岩手 11・7宮城 11・8福島 11・9茨城
 11・10栃木 11・11群馬 11・12千葉 11・13埼玉
 11・14神奈川 11・15東京 11・16大阪 11・17名古屋
 11・18京都 11・19福岡 11・20札幌 11・21仙台
 11・22青森 11・23秋田 11・24山形 11・25岩手
 11・26宮城 11・27福島 11・28茨城 11・29栃木
 11・30群馬 12・1千葉 12・2埼玉 12・3神奈川
 12・4東京 12・5大阪 12・6名古屋 12・7京都
 12・8福岡 12・9札幌 12・10仙台 12・11青森
 12・12秋田 12・

反核キャラバン隊
反トマロード拓く

の情宣で妨害にきた愛国党と口論。電産中国本部をへて、市民の会と台流。約五十人で駅前情は。」など質問。

— 今後の主な日程 —

6月トマホーク闘争のために(補論)

核戦争の危険に反対し 社会主義革命の大道へ

はじめに(「赤と緑の合流」)

戦争と革命の新たな激動の時代の始まりの中で、第二次世界大戦以来、世界大戦に比して、史上未曾有の地球規模の核戦争の危険が迫っている。米ソを軸とする両軍事ブロックによる世界核戦争の現実性が高まっている。極東への核トマホーク配備は、そのような核戦争への危険な導火線である。

他方、世界、アジア、日本を結んで、戦争が平和の大衆的気運がこれまでになく高まり「核のない社会」を要求する声、世界のすみずみに広がっている。われわれがこうした現実の中で、これら核戦争の根源が他ならぬ帝国主義とその軍事ブロックにあることを暴露し、この危機を打開する道は、プロレタリア社会主義革命にしかないことを訴え、組織

するためには、核の問題を避けて通ることはできない。それは、現在の六月トマホーク配備阻止の闘いの中でも、二つの方面から不可避となっている。一つは、欧州でそうであった様に、今日の反戦反核闘争が、エコロジの部分との合流、いわゆる「赤と緑の合流」が始まり、今後この方向が拡大、進行するのは必死であること。即ち、環境のため、平和のための闘いが、核戦争の現実性の中で、共通する敵に向って共に進む諸条件が形成され始めたことをしめしている。それは、われわれをして、今後の共同統一戦線の際の態度と内実を問うものに他ならない。二つは、より本質的・根本的には、われわれのめざす「当面する社会主義革命と

目次

極東へのトマホーク配備と我々の闘い

- 一、極東トマホーク配備の狙い
- 二、対ソ核基地化いそぐ中曽根
- 三、国際主義発揚し実力阻止へ

(以上59号)

反トマホーク闘争の前進のために

「反核の思想・路線的諸問題」

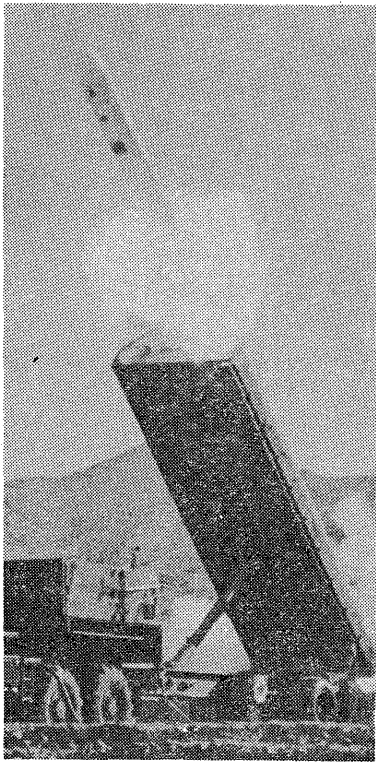
- 一、欧州の闘いと教訓に学ぼう
- 二、日共の愛国・民族排外主義
- 三、ソ社擁護の第四インター

(以上60号)

補論 一、核、核兵器と我々の立場(本号)

- 二、自然と人間の共生・人類解放とマルクス主義

(次号)



写真は地上発射の巡航ミサイル

山村りゅう

核と核兵器問題への立場

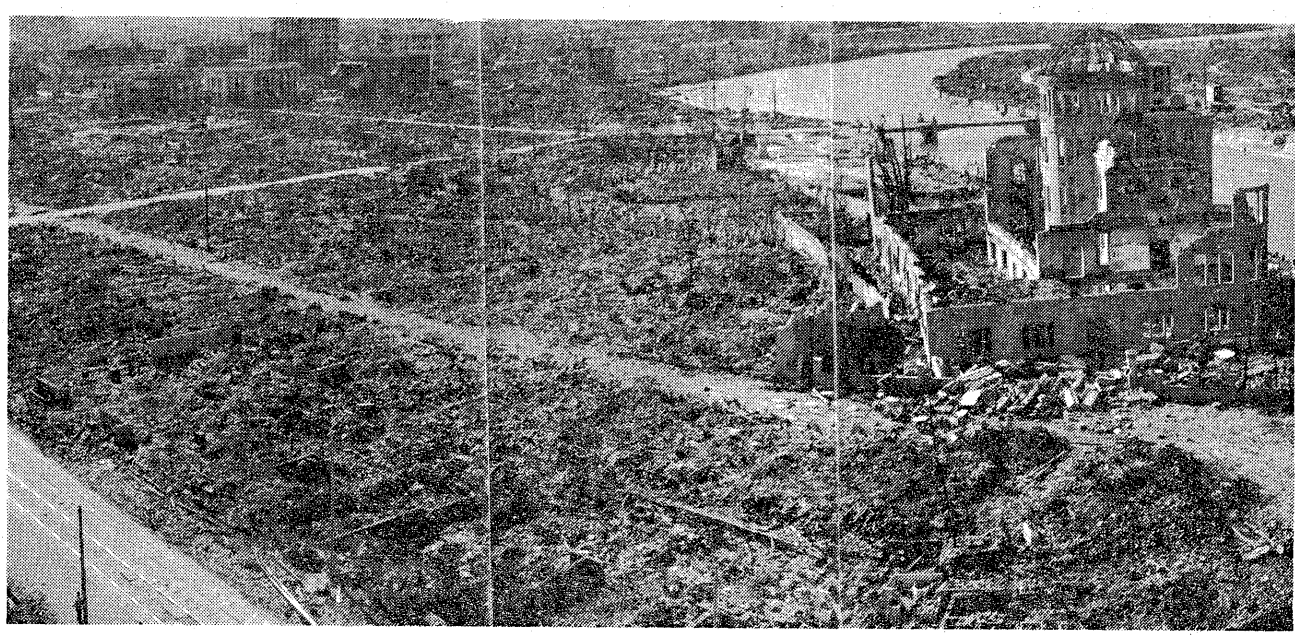
一切の核兵器の廃絶

「現在、地球上の人々一人一人の頭上には、TNT火薬十トン相当の核爆弾が、タモクレスの剣のように毛髪一本で吊られている。あの広島朝の様に、平和なある晴れた日、突然として核戦争の幕が切れておとされれば地球の終わりがやってくる」(アメリカ、ランドセル)。

現在、一つの「限定核戦争」の淵にたどり着くのみならず、三十七年の今日に受ける放射能による白血病などの多発、新生物異常など日本人を殺し続けている。また最近のベトナム戦争時における米軍の枯葉剤戦など、これら核兵器、生物化学兵器は単に外なる自然生態系の破壊だけでなく、未来の世代をも含む「内なる自然」としての人間、生物遺伝を含む生態系の破壊をもたらす「悪魔の犯罪」である。

マナカサの数十倍、数百倍の規模であるのみならず、これが導火線となって地球と人類の破壊の道へつながりかねない危険が現実となりつつある。こうした「核の檻」と化した現代世界で、米をはじめ帝国主義ブルジョアが、「核戦争を長期に闘い、生き残ることを必死で考えている時に、人民大衆の「反核反戦」の声を対して、共産主義者、労働者階級はいかなる態度をとるべきか。

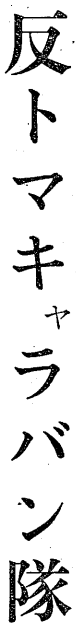
「核兵器の廃絶と全人民の武装」われわれは、まず、断固として一切の核兵器の廃絶と核兵器のものを対する立場を明確にすべきである。



二度と核戦争を許すな。写真は原爆投下の広島

人間の解放を歴史的使命とする労働階級は、この腐敗した畜生体としてのブルジョア国家権力を打倒すること、このできあいの国家権力を粉々に打ち砕き、人民から離れた軍隊を人民自身の直務武装にかえ、この国家を廃絶して、一環として、今の核兵器の廃絶の立場を堅持しなければならない。こうしたプロレタリア革命と人民の武装の境地からして、マルクス主義者は、文字通り小銃的な非武装、中立や非暴力主義とは異なる立場を堅持するのである。

(三面につづく)



5月14日 長崎市

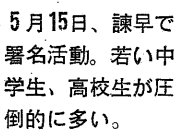
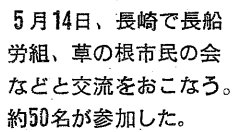
出発集会

地区労と合同学習会

5月15日 島原

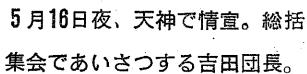
5月13日から

5月17日まで



知ってますか

82年米で数百万人の反核動員をした「グランド・ゼロ(爆心地)」運動の指導者モラングー氏の反核運動の心得。①「自信を持って」②「自分の力を試せ」③「語りかけよ」④「大きなことを考えよ」⑤「諦めるな」⑥「答えが出るまで待つな」



5月16日、米領事館に申し入れる行進団。この後、申し入れ書は受けとられた。これは福岡では初めてのこと。



5月16日 福岡市

長崎の仲間と兵に朝、七時から三重重工・長崎造船所の門前でじまき。長船労組ストで歓迎。八時すぎから長崎市役所で情宣。十時から原爆資料館訪ずれ館長と次長に会見。吉田団長が「資料館の方から県教委に対して平和教育を進めてほしい」と要請する。後に資料館見学。

「先生が平和の問題についてよく語っている」「トモホークは知っている」といって積極的に署名。夜、五時半から島原地区労学習会に参加する。行進団を代表して吉田さんが二度と広島、長崎の悲劇をくり返さない闘いを誓さんと共に「つていきたい」とあいさす。長崎から参加したシンガーソングライター・赤星さんがギターで反戦、反核ソングを披露。その後京都トマ連の「不沈空母バッド」スライド上映。長船労組の久保田氏が講演。全国運動事務局黒田君が全トマ運動の経過と活動を紹介。夜九時から「島原平和を考える会」主催の交流会に参加。

朝九時半、天神から県庁まで
デモ。後に社会党訪問、十時半
から県庁申し入れ行動、管財課
でできて、人数は五名とか、
ゼンケンをはずせばなとデモカ
ッ。結局十二人全員が秘書課長
と意見、反トスガ明確にせずと
申し入れ。後に県職労から激励
。九大本部まで行進。士時
すきから九大生協歓迎集会が開
かれ、五十名の労働者、学生と
集会、九大生協労組からカンパ
をうける。禰教大前情宣。
二時半、大分の中津に向う。
六時すきからホークミサイル配
備反対住民団体、地域の草の根
市民団体と交流会。約三千五名
が集まる。九条連の魚屋さんが
店に憲法九条の看板をだしてい
る。販売上、自分の方から話し
かけられないが、魚屋を繞って
いる間、看板をだし繞けると連
動を紹介し、連動の経験交流に花
がさいた。

九大で歓迎集会

5月17日 大分・中津

朝七時、虜原港からフェリーで長州に渡る。十時半、築紫地区旁訪問。後に陸上・航空自衛隊春日原基地へ。「自衛隊はアジア民衆に銃を向けるな」「リムパック84粉砕」等の抗議シュプレヒコール。士時まで市内情宣。士時から九大教養部で情宣。吉田さん一隊は福岡大に向い学生交流。残る団員は地区

労、県庁、自治労を訪問。四時半、全員でアメリカ領事館に由し入れ行動。領事代理にトマホーク配備中止の申し入れ書を讀み上げ、渡す。五時から大森公園に向つてデモ、情宣と署名活動を天神で行つ。署名百二十八名。午後八時半から四十名で上福岡教会において交流会。

東京反核青年委
署名活動展開

五月二日、反校ギョラバンに呼応し、反校のため行動する青年委員会（反校青年委）は東京・大井町駅前で、署名・カンパ活動を展開した。

朝十時、青年労働者七名が集合。「静かに進め」ということでハンドマイクは使わないう。メンバーの署名板に、反トマ運動のポスターをばり、ゼッケン、団結腕章をつけ、二手に分かれて声をかける。署名活動は初体験、というメンバーもいて、始めは声がでない。そのうちに、だまって立ってゐたのうちに、だまって立つてゐた

見交換。――予想以上の反応だ。トマホーク自体の知識がなくても心じてくれる。勇気づけられた。その他、色々言いあつたすえ、青年層は、危機の時代に対する真意をもっていることの手応えと、そこにわれわれ自身の活路もあり、そこにかけて行動しようと思確しあつた。

六月反トマ闘争の中で、青年の力を総結集し、創意・工夫にあられた、新しい闘いの質をつくりだし、闘い方を発見し、八十年代安保闘争の先陣を切つてすすむ。

けではタタタと鳴き。客を待
つスナシーの運転者（まで声を
かけ、署名をとる。

十代、二十代の若者たちは、
素材は鶏肉から、核心にあれる
質問、高層まで、実に素直にお
つづける。中には、六十一の
おばあちゃんから、十歳の弟ま
で、家族五人の名前を書いてい
った学生もいた。

土曜終了。署名数約六十
人、カンパ約三千円、ましまし
のりとな。喫茶店に入って焼

ボイコット運動が成果

総評の帝國主義労働運動への解
 体再編は、段と進んでいる。総評
 は今年度の運動方針基調（案素）
 において、一方で「福祉国家」「平
 和国家日本」を唱えながら、他方
 で現在を労働戦線の統一という大
 目玉財に、社会平和を打ち出した。

